



月根尾

2月

243号

～「月根尾」とは、学校のある地域の古名「突根尾原」に由来する地名です～

飯南町の魅力 雪を満喫!

積雪の多い飯南町ならではの、
地域の自然を活かした特色ある学校活動です。

1年生 歩くスキー 1/26.28

毎年、1年生がグラウンドで「歩くスキー」を体験しています。「歩くスキー」は普通のスキーとは違い、板の幅が狭く、歩きやすいように靴の前部分だけが固定されているクロスカントリー用のものを使用します。町内生でも初めて体験するという生徒がほとんどで、慣れるまでは転びながらグラウンドを歩いたり走ったりしていました。

今年度は積雪量が多くなく、雪がずいぶん溶けていましたが、その分歩きやすそうで、暑くなるほど楽しんでいた生徒もいました。中には斜面に挑戦する生徒も！後日、体育の授業でも、選択種目として歩くスキーを選び、体験している生徒もいました。飯南町の特色でもある“雪”に親しみながら、体力づくりを行うことができました。



2年生 スキー研修 2/2

今年も町内にある琴引フォレストパークスキー場で行うことができました。スキーの経験差に合わせて、6班に分かれてインストラクターの方に滑り方を教わりました。今年は直前の積雪や天気にも恵まれ、良い環境でスキー体験ができました。

「初めてだったが、指導者の方が優しく楽しくスキーができた。だんだんコツがつかめ、転ばずに滑れるようになったので、途中であきらめなくてよかった。」「分からないことを積極的に質問して、

どうしたら上手に滑ることができるか意識しながらできた。」などの生徒の感想から、意欲的に活動できたことが分かりました。また、「みんなで助け合いながらできた。」という感想もあり、クラスを越えて協力しながら取り組めたようです。

飯南町の冬の体験を通して、地域への理解や愛着を深める時間にもなりました。初めての生徒も、ウィンタースポーツを楽しんでくれるきっかけになればいいと思います。



この授業は、下記【地域医療学習】の事前学習で、話された内容を図式化し、発信力の向上を図ることを目的としています。

烏田先生は『要約学習＝図式化』。図式を手に入れてほしい。」と話され、図式の良い例や悪い例を見せていただいて、書き方を学びました。キーワードを書き、矢印やイラスト等を取り入れながら立体的に図式化して頭に入れることで、プレゼンする際に紙面を見ずに前を向いて話ることができるようになっていくそうです。



生徒は、短い文章を図式化する練習をし、その後長い文章の図式化にも挑戦しました。長い文章でも書き込みすぎず、できるだけシンプルに図式化することがコツだそうです。その図式をもとに、グループ内で何度もプレゼンをしました。初めは40秒という短い時間で話すことが難しそうでしたが、回数を重ねるとだんだん端的に語るできるようになっていました。

その後も、自分の書いた図式を見ながら文章化したり、耳で聞いた文章を図式化したり、飯南高校の「良さ」「さらに良くするためには」をキーワードで書き出したりする練習をしました。

様々な方法を体験し、図式の幅広い活用の仕方を感じたのではないのでしょうか。地域医療学習だけでなく、その他の場面でも図式を取り入れてほしいと思います。

今年もオンラインで地域医療学習を行いました。はじめに、飯南病院の高橋事務長から施設説明を、角田院長から地域医療の現状を話していただきました。お二人の話から、「飯南病院は24時間365日開いている救急告示病院として、総合性と受診のしやすさを特徴としていること」「住民が安心して暮らせるように、どんなけがや病気も診ることができる総合医として医師が勤務していること」「地域の特性を活かしながら、求められていることに対してスキルアップしておられること」が分かりました。生徒は、事前学習で習った「要約学習」の図式を利用してメモを取っていました。

その後は、飯南病院の看護師、市山雅史さん、理学療法士の森山智博さん、町内の介護施設「庵」の介護福祉士、菅野啓太さんにインタビューしました。生徒は、様々な質問をする中で、利用者さんや患者さんに対する思いや仕事に対する考えを受け止め、感想に書いていました。



- 生徒の感想から
- 地域医療に対して、様々な職種の方がいろいろな思いを持っておられることが分かった。地域の人とそれを支えていく人とが協力して町づくりをしていくことが大切だと思った。
 - どんな仕事であっても、その中で自分ができることを精一杯考えることが大切だと分かった。仕事に対する姿勢を見習って、自分の夢に向かって頑張っていきたい。
 - 医療関係の仕事は大変だというイメージがあったが、大変だけどそれ以上のやりがいがあることが分かった。それぞれ違ったやりがいがあり、自分の仕事に誇りを持ってやっておられることを知り、もっと多くの職業について知りたいと思った。
 - 地域医療が自分に関係ないものではないと分かったので、これから地域の方たちと支え合える関係でありたいと思った。地域医療は、地域の住民にかかせないものなので、これからも地域全体で協力して生活したいと思う。

飯南町の地域医療の現状や課題、それに携わる人々の思いを知り、自分がどう関わっていくことができるのか考える時間となりました。

3年1組の課題研究2班は、【飯南町を健康に!】というテーマで課題研究を進めてきました。そして、「味噌を摂って健康に繋げる」ため、頓原味噌を使った様々なメニューを考案してきました。その中から、高校生をターゲットとした時、食べてもらいやすいものとして、味噌サンドイッチを創作しました。昼食時に高校でパンを販売してくださっているミエルさんにご協力いただき、試作を続け、2種類の味噌サンドイッチの販売が実現しました!

生徒が考案した味噌カツサンドは『味噌タルタルカツサンド』として、肉味噌サンドは『肉味噌ピタパン』として、販売してくださいました。タルタルにはとんぼろ漬けを、ピタパンのアクセントにはリングを挟んで、飯南町らしいサンドイッチ2種に仕上がっていました!



左) 味噌タルタルカツサンド
右) 肉味噌ピタパン
*ピタパンはポケット状の空洞が特徴的で、ポケットパンとも呼ばれています。

販売当日は2班の生徒も販売を手伝いました。数日前から全校生徒にアナウンスしていたこともあり、あっという間に完売しました。どちらも「おいしい!」ととても好評でした!

2班の生徒は、「はじめは味噌プリン、味噌アイス等のメニューを考えていたので、味噌サンドイッチを思いついたのは遅い時期だった。時間が限られていたので、中途半端で終わってしまうかと思ったが、ミエルさんに協力していただき、良い方向に進んで、販売まですることができた。ミエルさんに感謝の気持ちしかない。」と話していました。

商品の販売実現にご協力くださったミエルさん、本当にありがとうございました!



このフェスタは、島根県内の高校生が探究学習の学びを互いに共有し合うことで、探究学習の楽しさを知り、学びを深めるために実施されています。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインによる開催でした。

飯南高校からは、寮生3名(近藤成佳さん、大井理楽さん、錦織快さん)が発表しました。11月からこのプロジェクトについて考え始めましたが、テーマ決めで苦しんだという3人。コーディネーターや先生と意見交換をし、入学してこれまで体験してきたこと等を盛り込んで、「飯南町に住んで感じているこの町の魅力を、町外の高校生にも知ってもらいたい!」という思いを持ちました。そして、【なぜかしら飯南町に来てしまった私たちによる町の考察】と題してまとめ、発表しました。

飯南町以外の地域から飯南高校に入学している3人の視点からの町の魅力、これからやってみたい町との関わりがよく分かる発表となっていました。飯南町での縁を大切にしていきたいという思いも伝わってきました。

発表後、「聞いている人が元気になれるような、飯南愛を感じる発表だった。地域の人を巻き込んだ活動を企画し、継続して関わられる仕組みを考えてほしい。」というメッセージをいただきました。

同じグループの5つの高校の発表も聞きました。様々なジャンルの、それぞれの高校の魅力が伝わる発表を聞き、「刺激を受けた」「いろいろな視点で島根を知ることができた」と話していました。

この探究フェスタを通して、3人は発見力、アイデア力、発信力が高められたと感じたそうです。飯南町でやってみたいことをぜひ実現して、今後も探究を深めてほしいと思います。

2月8日には、校内でも発表する場を設けました。どのクラスからも質問がたくさん出ていました。「声の大きさや分かりやすさにひきつけられた」「改めて飯南町の魅力や強みを知ることができた」という感想が数多くありました。



卓球部

1/9

第49回全国高等学校選抜卓球大会シングルス

島根県予選大会

【男子】5名出場

【女子】3名出場

報道部

2/5

第7回中国地区高校放送コンテスト（オンライン）

【アナウンス部門】1名出場

【朗読部門】2名出場

【ビデオメッセージ部門】1作品出品

スキー部

1/25-27

第63回中国高等学校スキー選手権大会

【男子大回転】2名出場

【女子大回転】2名出場

【男子回転】5名出場

【女子回転】4名出場

稲田 七星

第4位



図書館だよりでも
お知らせがありました...

500冊の
新着図書が！



昨年に引き続き今年も、県立高等学校図書館図書充実事業により500冊の本が入りました。多くのリクエストをいただいたことで、様々なジャンルの図書を配架することができました。気軽に手に取っていただくため、昇降口正面のコモンスペースに置いています。

本の多さから移動図書館のようなスペースになっていますが、小説から教養、雑学、趣味まで揃っていますので、おうち時間にぴったりな本が見つかるかもしれません。「何か読みたいけれど…」と、悩んでいる場合は司書に声を掛けてください。オススメの本をご用意しますので、気軽にご利用ください。

『第41回読書体験記コンクール』で 学校賞を受賞！

10月に『第41回読書体験記コンクール島根県審査』で片地ことのさんが県での最高賞に当たる「優良賞」を受賞しました。そしてこのたび、各都道府県の代表として中央選考会（全国審査）に送られた作品を書いた生徒が在籍する学校に贈られる「学校賞」を受賞し、“集英社文庫50冊セット”をいただきました。この文庫本も図書館に置かれていますので、皆さんぜひ、手に取って読んでみてください。



3月の主な行事予定



1日（火）卒業式

1・2年生は特別休業日

3日（木）高校入学者選抜学力検査日（～4日）

生徒は特別休業日（～4日）

11日（金）一般選抜等合格発表

24日（木）終業式・離任式

27日（日）閉寮（正午～4月3日正午（予定））

28日（月）入学前説明会

*行事予定は今後変更になる可能性があります。